



6 年生「全国学力・学習状況調査」の結果から

全国学力・学習状況調査とは、文部科学省が全国の小学校第 6 学年と中学校第 3 学年を対象に、毎年行っている学力と学習状況の調査です。今年度、小学校の教科に関する調査は、国語、算数の 2 教科で、4 月 23 日に実施されました。前学年までに学習した内容が出題され、5 年生までに学習したことの定着度を測ることが目的です。各教科 45 分で取り組みました。また、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（アンケート）もありました。

教科に関する調査の結果 平均正答率（％）

R8 年度の結果を R7 年度と比較して表にしました。

全国の結果と比べてみると、R8 年度は、国語で 9.9 ポイント、算数は 6.4 ポイント下回っています。年度によって、問題や対象者が異なるために一概には比較できませんが、全国平均に対して、定着の弱さが見受けられます。

国語	年度	R 8 年度	算数	年度	R 8 年度
	関小	51.0%		関小	50.0%
	全国	60.9%		全国	56.4%
	全国との差	▲9.9		全国との差	▲6.4
	三重県	61.0%		三重県	55.0%
	県との差	▲10.0		県との差	▲5.0

国語科 問題別に分析してみると…

【特に正答率が低かった内容】

- ▲引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する（関小 29.3%、全国平均 33.5%）
- ▲比喻や反復などの表現の工夫に気付く（関小 51.2%、全国平均 65.2%）
- ▲筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる（関小 39.0%、全国平均 57.9%）
- ▲考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解する
（関小 34.1%、全国平均 48.9%）
- ▲漢字【ふしぎ→不思議】を文の中で正しく使う（関小 34.1%、全国平均 45.2%）
- ▲情報と情報との関係付けの仕方や、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し、使うことができる
（関小 31.7%、全国平均 55.6%）
- ▲目的に応じて、必要な情報を見付けることができる（関小 43.9%、全国平均 55.5%）

【結果分析をうけて、学校で取り組んでいくこと】

- 文章を読み取ったり自分の考えを表現したりするときには、次の 2 点を大切に学習します。
 - ・語句と語句、情報と情報の関係をメモや図に表すことを通して、自分や書き手の考えを明確にすること
 - ・文章の構成や、比喻や反復などの効果的な表現について注目し、自分の表現に工夫を加えること
 また、作文や発表の内容を、一人で読み返したり、友だちと文章や表現を読みあったりする機会を作り、表現力を高めていきます。
- 読書の習慣化や読書の時間づくりをすすめます。また、初見の文章を読む機会をつくります。

算数科 問題別に分析してみると…

【特に正答率が高かった内容】

◎2つの表を読み取り、そこからわかることを、表の言葉と数値を用いて記述する(関小68.3%、全国平均56.2%)

【特に正答率が低かった内容】

- ▲ 百分率で表された割合と比較量から、基準量を求める(関小36.6%、全国平均53.1%)
- ▲ 単位量当たりの大きさを求めるわり算の式の意味を理解し、その答えからどちらが混みあっているか判断することができる(関小14.6%、全国平均21.5%)
- ▲ 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶ(関小17.1%、全国平均34.2%)
- ▲ 整数と小数の引き算の答えを正しく求める(関小46.3%、全国平均58.1%)
- ▲ 単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りをとらえる(関小51.2%、全国平均68.1%)
- ▲ 二次元の表から、条件に合う数を読み取る(関小4.9%、全国平均17.9%)

【結果分析をうけて、学校で取り組んでいくこと】

- 特に課題の見られた「分数」「割合」に関して、下学年の関連した単元の学習で、高学年の学習内容とのつながりを意識して、指導の重点化を図ります。
- 4年生までに学習する基礎的な計算について、家庭学習や授業時間内での復習や細かな確かめを行い、定着を図ります。

問題への取り組み方について…

問題の無回答率(答えを書かず、空白のまま提出している割合)は、国語では、13問中12の問題、算数でも、16問中15の問題で、全国平均を下回っており、子どもたちが問題にしっかりと向き合い取り組もうとした姿勢が感じられました。

「児童生徒質問紙」調査の結果 平均正答率(%)

「児童生徒質問紙」では、生活習慣や学習習慣に関すること、豊かな人間性(自己有用感や地域への関心等)に関することなど73項目について回答しました。肯定的な回答を全国平均と比べると9割以上の項目で上回っていました。注目していきたい項目について、まとめました。

数値は肯定的な回答

自己肯定感に関わる内容	関小	全国	三重県
自分にはよいところがあると思いますか	87.4	85.6	84.7
普段の生活の中で幸せな気持ちになることはどれくらいありますか【「よくある」「ときどきある」と回答】	92.7	92.5	92.8
先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか	97.6	91.4	94.2
将来の夢や目標を持っていますか	87.8	81.8	81.6
学習習慣に関わる内容	関小	全国	三重県
平日の学習時間【1時間以上】	43.9	49.9	45.4
休日の学習時間【1時間以上】	31.7	39	33
学習活動に関わる内容	関小	全国	三重県
今までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	80.5	77.6	76.9
授業時間外に、普段、1日どれくらいの時間、読書しますか【「読む」と回答】	73.2	61.3	61.3
国語の勉強は好きですか	68.3	57.4	54.1
算数の勉強は好きですか	90.3	57.6	59.2
英語の勉強は好きですか	85.3	66.7	66

学校生活に関わる内容	関小	全国	三重県
あなたの学級では、学校生活をよくするために学級会で話し合い、互いのよさを生かして解決方法をきめていますか	92.7	81.5	80.1
学校に行くのは楽しいですか	97.5	85.7	84.8
友だち関係に満足していますか	97.6	91.1	91.2
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	92.6	80.1	82.3

質問紙調査からは、子どもたちが学校生活に対して概ね肯定的な意識を持っていることが分かりました。また、各教科への関心も高く、学級活動への主体的な取り組みも、本校のよさと言えます。

一方で、「家庭での学習時間」については、全国平均を下回る結果となりました。1学期末から主に中・高学年で本格的に取り組み始めた「自主学習」を通して、自分で問いを立てて調べる楽しさを味わえるよう指導し、家庭での学習意欲アップへつなげてまいります。ご家庭でのお子様への励まし、家庭学習の見守りを、ひきつづきどうぞよろしくお願いいたします。